

# 選ばれる自治体に

▼問合せ 企画グループ ☎079(435)0356  
 3月4日の播磨町議会定例会で、清水町長より平成27年度施政方針が発表されました。その所信について掲載します。第4次総合計画に掲げた「まちづくりの基本目標」の5つの柱に沿って、本年度の主要な事業を説明します。

## はじめに

国は、長引くデフレからの早期脱却と日本経済の再生のため、「大胆な金融施策」、「機動的な財政施策」、「民間投資を喚起する成長戦略」を「二本の矢」として、これらを一体的に取り組み経済財政対策を推進した結果、株価の上昇や円安などが進み、バブル経済崩壊後の長期にわたる景気低迷からようやく脱却しつつあり、内閣府が本年2月に発表した「月例経済報告」によりますます「景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている」とされており

成の基本方針」の中で「経済の好循環を確かなものとし、全国津々浦々にまで景気回復の実感を行き渡らせる」とされており、期待するものでございます。また、本年度より我が国が直面する人口急減・超高齢化に対し、国と地方が一体となり、これらの課題に取り組む「地方創生」のための施策が実施され、元気で豊かな地方の創生に向けた中長期的な取り組みが展開されてまいります。

れるなど、歳入の確保については、依然厳しい状況が続いております。一方、歳出においては、少子・高齢化対策をはじめとする社会保障関連費が年々増加傾向にある中で、生活



しかし、これらの取り組みの効果は、未だ地方にまでは及んでいない状況であります。国においては「平成27年度予算編

このような状況下、平成27年度の当初予算について、まず、歳入ですが、自主財源の根幹となります。町税については、制度改正に伴う法人町民税の減少などの影響により、前年度に比べて7千万円の減収見込みで、全体では51億1千万円となり伸びが見込めない状況で、財源不足を補うため財政調整基金を繰り入

このような状況の中で、平成27年度の予算編成に当たっては、「第4次播磨町総合計画」をはじめ、「第4次播磨町行政改革大綱」及びこれに基づく具体的取

り組みを示した「行政改革実施計画」を推進し、「事業評価書」による検討、見直しを通じて、真に必要な事業には重点的・積極的に取り組む予算を編成してまいります。

## 1. 豊かな心と人を育むまち

本年度から新たに実施される「総合教育会議」においては、町長と教育委員会が町の教育の現状と課題について論議し、新たな方向性を見出してまいります。これにより策定された「大綱」及び「教育振興基本計画」を播磨町の教育方針として位置付けてまいります。

ール、屋内運動場、中学校の武道場などの改修工事を実施し、より安全で快適な学習環境を構築してまいります。また、播磨南小学校では、児童の増加に対応するため増築工事を実施し、受け入れ児童数の拡大を図ります。同様に園児が急増している播磨幼稚園においては、遊戯室棟を新築するため、近接する土地を購入し、快適な園生活を確保してまいります。

会を増やしてまいります。年間を通して、小学生から高齢者まで多くの利用がある新島球場につきましては、建設後かなりの年数を経過していることから、現在のニーズも踏まえた改良を行うため、本年度設計を行います。

学校施設の大規模改修につきましては、策定している改修計画に基づき順次実施してきておりますが、本年度も小学校のプ

4年前から実施しております中学校給食につきましては、播磨町独自の提供方法も学校現場で定着し、「食育」指導の一環として効果をあげておりますが、かたや長い歴史を重ねてきた小学校給食においては、施設の老朽化が進んでいることから、今後の小・中学校給食のあり方について検討を始めてまいります。昨年、廃止を決定した播磨町民プールの跡地につきましては、本年度、海辺の新たなスポーツゾーンとして、幼児が水遊びできる親水池、フットサルコート、3on3コート、屋根付き休憩所、芝生広場など、健康増進や交流の場「つみえーる広場」を整備いたします。また、夏の水泳施設として、播磨小学校プールを一般開放し、住民が水に親しむ機

毎年11月に開催しております「大中遺跡まつり」は、県内外より多くの方々にご参加いただいております。また、大中遺跡や播磨町の歴史、文化財などをテーマとした映像を制作し、播磨町の文化をわかりやすく情報提供し、後世にも大切に伝えてまいりたいと思っております。

## 2. やすらぎがあり、健やかに暮らせるまち

子育て家庭への支援として、これまで0歳から小学3年生までは、乳幼児医療で無料としてまいりましたが、本年度より、更に小学4年生から中学3年生ま

学童保育につきましては、これまで原則3年生までを対象としておりましたが、本年度より4年生以上の希望者も受け入れてまいります。そのため、播磨西小学校に第二学童を設置し、町内全学童保育の待機児童解消を図ります。来年は、播磨南小学校にも第二学童を設置いたします。更に、普段、学童保育を利用していない児童につきましては、夏休み、冬休みなどの長期休暇のみの希望も多いため、本年度より希望する児童を受け入れてまいります。



▲北部子育て支援センター

胃がん検診として行われているバリウム検査を負担に思われる方は少なくないことから、受診者の負担軽減を図るため、本年度より新たな検査方法である血液検査による「胃がんリス

胃がん検診として行われているバリウム検査を負担に思われる方は少なくないことから、受診者の負担軽減を図るため、本年度より新たな検査方法である血液検査による「胃がんリス

検査（ABC分類）を実施することで、検診を受けやすくします。

高齢化が進む社会において関心の高い「認知症」について、「物忘れ相談プログラム」のタッチパネルパソコンを町内各公共施設に設置し、早期発見をすることで早期治療を可能にします。また、「あんしん見守りキーホルダー」を携帯することで、徘徊時などの本人確認が容易にできるような工夫もしてまいります。

交通事故において高齢者が当事者となることが多いという統計もあることから、運転免許証の返納について、証明書発行時の手数料を補助し、さらに「播磨ふれあいの家」の利用に対しても宿泊料を補助します。

災害時に備えて、年々、様々な対策を積み上げてきておりますが、南海トラフ巨大地震の到来が、近い将来確実にあると予測される中で、新たな被害想定のもと、総合防災マップを更新し全戸配布いたします。さらに本年度は、土山駅南に防災公園を整備し、周辺住民や帰宅困難者への災害時対応にも備えてまいります。また、播磨西小学校には防災資機材を整備し、来年蓮池小学校に設置する防災倉庫の設

計も行います。住宅については、住宅耐震改修工事の補助制度を新たに設け、耐震診断後の改修、建て替えを促してまいります。

近年、放置された空き家が各地域で問題となっており、ことから、本年度に空き家調査を実施し、今後の対策を検討してまいります。

3年間実施してまいりました住宅リフォームへの助成は、毎年多くの希望者があり町内産業への経済的効果も大きいことから、本年度も引き続き行い、住宅環境の向上と中小企業支援を図ってまいります。

商工会が行う経営革新・創業支援を行政としても後押しし、町内産業の活性化を図ってまい

ります。本年度には国の経済対策を受けて、プレミアム商品券の発行も実施し、消費喚起を図ってまいります。

### 3. 人や環境にやさしく、快適なまち

この地域に水の恵みをもたらした「新井」の到達地点である大池の改修工事が完了し、本年度は周辺住民が自然に親しみ、健康増進の場ともなるよう、大池周辺の通路などを整備します。

土山駅南町有地においては、来年3月に新たな商業施設がオープンいたしますが、その中に町の公共スペースを確保し、情報発信・交流の場として活用してまいります。また、そうしたまちの変化を受けて、住民が移動する機会も多くなることから、播磨町の公共交通を充実させてまいります。昨年、行った「住民意向調査」の結果を踏まえて「播磨町地域



▲野添北公園ホタル（幼虫）放流

### 4. つながりを大切にすま

新たな情報発信として、昨年からフェイスブックも実施しておりますが、ホームページ、町広報などで行政情報を発信するとともに、いろいろな機会を捉えて住民との対話を重ね、住民ニーズの把握に努めてまいります。

また、前述の土山駅南交流スペースにおいても、市町域を超えた新たな交流が生まれるものと期待しております。

「いきいきフォーラム」など播同協が行う事業を支援するとともに、町が行う映画会や講演会などで人権意識の高揚を図り、人権が尊重されるまちづくりを進めてまいります。また、昨年から実施しております「本人通知制度」の周知を図り、より多くの方々に登録していただくことで、個人情報の保護、人権侵害への



▲サマーフェスティバル（浜田公園野球場）

被害防止に努めてまいります。

朝来市にある「播磨ふれあいの家」につきましては、平成27年度からさらに5年間、指定管理者による運営を継続してまいります。しかしながら老朽化も進んでいることから、今年はいレボライナーなどを改修し、宿泊客などが快適にご利用いただけるような整備を行ってまいります。

夏の行事として定着してまい

### 5. 健全な

#### 行政経営による持続可能なまち

すでに水道・下水道料金で実施しておりますコンビニ収納を、本年度より町税の収納においても実施し、納税の利便性を高め、収納率アップに努めてまいります。また、平成28年より交付される個人番号カードを活用することで、コンビニでの住民票、証明書などの交付を可能にし、住民生活の利便性を高めてまいります。

「国勢調査は5年ごとに実施しておりますが、今年がその調査年にあたることから、人口構成や居住状況を調査し、今後のまちづくりの参考としてまいります。

平成34年の供用開始を目指して進めております2市2町の「ごみ処理広域化」につきましては、本年度より高砂市に事務委



▲土山駅南町有地の現状（平成27年4月撮影）

公共交通会議」で、路線バス交通のあり方や、未路線地域の交通形態などを検討してまいります。水田川改修工事につきましては、県事業であります。町としても毎年、国、県など関係機関に要望を重ねてきております。県は山陽電気鉄道から上流側の用地買収や関係者との協議に努力されておりますが、事業費面だけでなく、工事に数か年と多くの事業期間が必要となる見込みです。町として、本年度は浸水時に設置する止水板を購入し、浸水被害への対策を講じてまいります。

託することになっており、今後は事業者の選定業務や環境等の調査など新たな段階に進んでまいります。今後とも東播磨広域行政協議会等での協議を重ねながら、環境と住民サービスに配慮した事業展開を図ってまいります。

国が取り組む地方の創生に合わせて、「地方版総合戦略等」を策定するとともに、「連携中枢都市圏」形成に向け、中心となる姫路市と連携協約を締結し、播磨圏内の7市8町で文化・産業・交通などの様々な分野において広域連携を進めてまいります。

本年度は第4次播磨町総合計画の中間年にあたります。これまで実施してきた5年間の施策の成果を踏まえて、今後5年間の実施計画を策定してまいります。

※平成27年度施政方針全文は、町ホームページに掲載してあります。